

- 係員は、常に公正公平な立場で任務にあたるようにする。
- 個人的な応援や助言、撮影は避けるようにする。

☆競技会ディレクター

- 記録会すべてを管理し、プログラムを順調に進行させる責任を負う。
- 権限のある者以外は競技場内にいれないように整理する。

☆競技会サブディレクター

- 総務の任務を手助けする。

☆総務

- 記録会中における管理責任者
 - ①総務を助け、競技場施設の管理整備
 - ②文書、書類、プログラムの原稿管理
 - ③器具、物品、消耗品、賞品などの管理整備
 - ④競技役員の集合、解散
 - ⑤競技場管理者との連絡協議
 - ⑥表彰式典の準備連絡
 - ⑦その他必要事項の指示

☆総務員（技術総務員も含む）

- 総務から委任された事項の分担をする。
 - ①トラック、助走路、サークル、フィールド競技の着地区域が正しく整備されているか確認
 - ②必要な用器具、記録表、記録用紙の流れの確認
 - ③プログラムが順調に進行しているかについてたえず細かい配慮を払う
- トラック進行担当は、必要部署にトランシーバーを配布する。（アナウンサー、大型表示板係、競技者係、写真判定室、決勝審判員、リコーラー、用器具監察員、事務局担当）
- 総括、トラック進行担当は、ゴールタイマー並びに、ビームのセッティングを指示する。
- 技術総務員は、①について特に正しく整備されているか確認をする。

☆競技審判長

- 競技審判の最高責任者であって、競技規則が遵守されているかどうか監視する責任を負い、競技中に起こったすべての技術的な問題、ならびに日本陸上競技連盟 競技規則、開催要項に規定されていない事項について決定する。
 - ①着順の判定について、審判員で決められないときの判定の権限は審判長にある。
 - ②規則を犯した競技者、または妨害等の行為を行った競技者を失格させる権限がある。
 - ・審判長は、監察員、決勝審判員その他により規則違反、あるいは妨害等の報告を受けた場合は、必要があれば現場において、事情を把握し的確なる判断をする。
 - ③妨害した競技者を除いて、再レースをさせる権限を持つ。この場合前レースを無効にする権限もあわせて持つ。
 - ④競技進行中に起きた競技者あるいはチームの行為、または着順に関して出された抗議（正式に受理されたもの）について即決する。
 - ⑤競技開始前に審判員の出席を確認するとともに、競技場がよく整備されているか確認しなければならない。

☆アナウンサー【必要な物】ICレコーダー（国歌等入っているもの1つ）

- 観衆に対して各種目の参加競技者の氏名、レーン順あるいは試技順および途中時間などのすべて関係ある情報を発表する。
- 各種目の成績（順位、時間、高さ、距離）は、情報を受け取ったならば、できるだけ早くアナウンスしなければならない。
 - ・トラック競技の1着の速報記録並びに、正式記録をゴールタイマー、並びに大型表示板を見て紹介する。
 - ・1着以外の記録については、大型表示板をご覧下さいとアナウンスする。
 - ・大型表示板に表示されたトラック・フィールド種目の総合順位を8位までアナウンスする。その際、アナウンスする前にチャイムを鳴らす。
 - ・競技者係から送られてきたリレーオーダー用紙を見てアナウンスし、終了後記録集計員にオーダー用紙を送る。
- 写真室の「写真室 準備OKです。」とリコーダーの「アナウンスお願いします。」の合図を受け、各レースのアナウンスを開始する。
- 友好レースについては、編成用紙を見てアナウンスする。
- 監察主任から、黄旗が挙がっているのを、審判長を〇〇コーナー付近に呼び出してほしいと依頼があったら、アナウンスする。

☆大型表示板係

- 開会式の次第、競技種目、組毎の競技者、組毎の成績、総合成績等を大型表示板で表示する。
- 組毎の成績については、情報処理係から送られてくるデータを確認してから表示する。

☆情報処理係

- 記録・着順については写真判定室から送られてくるデータを処理する。
- 組毎の競技者、組毎の成績、総合成績等を大型表示板係と記録集計員へ送る。
- 友好レースは早めに番組編成を行う。
- フィールド競技で事前に棄権が出て最新版のスタートリストが作成されたら、リストを各フィールド競技場所に必ず持っていく。

☆記録集計員

- 情報処理係から送られてきた記録集計用紙を必要枚数用意し、各郡市監督用ボックスと理事用ボックスに入れる。また、記録集計用紙が送られてくる毎に7部コピーして、本部役員（会長、担当副会長、陸上委員長、事務局長）とアナウンサー、表彰係に各1部ずつ配布する。
- 県小体研HPに速報を随時アップする。

☆マナーシヤル（場内指令）

- 【必要な物】駐車場図（河川敷護岸沿い含む）（数枚）・イス（招集札用等7つ）・満車の札（2）
 - ・招集札（リングフック付き）・付箋紙・ビブス・ホワイトボードマーカー（2）
- バスロータリー付近の交通整理を行う。
- 開会式終了後、グラウンド内に競技者、記録会役員、競技役員、監督以外がいないように監督する。特に、本部席、走り幅跳びピット・決勝線記録員周辺は厳しくする。
- 招集所前から4コーナーのスタンド、100mゴール付近から第1コーナー、第3コーナーバックスタンドからサイドスタンドにかけてコーンを置き、不法に侵入しないよう監督する。
- 引率・保護者等はスタンドで応援させる。撮影許可証を身につけて撮影しているか監視する。
- 競技者は本部席前を通らず、スタンド下を通るように指導する。

☆救護員

- 競技者等のけが、病気の手当を行う。

☆競技者係【必要な物】掲示物等（ゼッケンの張り方の見本等）

- 正面スタンド下北側の雨天走路でトラック種目の競技者を招集する。その場合、ナンバーカードが正しく取り付けられ、スパイクシューズを履いていないことを確認する。裸足は禁止。
- 棄権者がいる場合、アナウンスと出発係に連絡する。
- 招集完了後、競技者を競技場所まで誘導し、出発係に引き渡す。
- 雨天時、コースに待機する組数を減らして実施（50mHは2組。1000mは1組）
- 腰ゼッケンのシールを正しい場所に貼らせる。
- リレーの選手を招集し、現地で出発係に引き渡す。
- 主任以外の8名を4名ずつの2グループに分け、男子と女子で担当分けをするとよい。

☆受付・接待係

- 来賓等の受付、プロ配布をする。
- 観覧者へのプロ販売（1部500円）を積極的に行う。
- 昼食の配布、湯茶の接待を行う。
- 棄権用紙、リレーオーダー用紙を受け付け、情報処理係に送る。

☆表彰係【必要な物】おぼん・ビニル袋（オーピーバック 34-53FUKUSUKE）

- 8位以内に入賞した競技者の表彰の準備を行う。友好レースの表彰は行わない。
 - ・表彰の際に放送を入れ、放送10分後を経過した場合は人数がそろっていても表彰を行う。選手が表彰にいけない場合は郡市監督やコーチが本部まで伝えに行く。
 - ・表彰に来た児童に各郡市理事の先生から賞状を渡してもらう。（随時表彰）
 - ・リレーの賞状は4枚+1枚印刷・雨天時の表彰は、本部が準備したビニル袋に入れて表彰する。

☆雨天走路係（雨天時のみ 場内指令、及び総務員があたる。）

- 雨天時のウォーミングアップは、雨天走路で行わせる。（ボール投げ禁止）
選手以外が入り、ウォーミングアップの妨げにならないよう十分注意する。応援席や荷物置場にならないように。
- 雨天走路の中央にコーン（センターラインのように）を並べ、会場図のように左周りにウォーミングアップをさせる。

☆用器具監察員

- 必要な用具の運搬、設置、片付けをする。
 - ・ハードル、スターティングブロック、レーンナンバー標識など
- 50mHのときは、各ハードルの横につき、ハードルを修正する。
- 審判長が指令した地点に立って競技を厳重に監察する。
 - ◇主任の任務
 - ・監察員の配置をするとともに、審判長よりあらかじめ指示された事項等を周知徹底させる。
 - ・ゴールの西側に監察台の上で監察をする。
 - ①アナウンスの選手紹介が終わったとき
黄旗を挙げ、全監察員が黄旗を挙げていないことを確認したら、黄旗を降ろす。一人でも黄旗がいる場合は、黄旗を挙げておく。
 - ②最終走者がゴールしたとき
監察員に一人でも黄旗がいる場合は、黄旗を挙げ、トランシーバーでアナウンサーに「黄旗が挙がっているので、審判長を〇〇コーナー付近に呼び出して下さい。」とアナウンスを依頼する。
 - ③1000m、800m
200mごとのラップを計るので、先頭が決勝線を通過したときに、アナウンサーに見えるように黄旗を降ろす。

◇監察員の競技ごとの監察場所、反則行為

①基本事項

- ・アナウンスの選手紹介が終わったとき
競技者や係員の準備ができていない場合は、黄旗を挙げておき、準備ができた時点で黄旗を降ろす。
- ・全員がゴールしたときに反則行為があったり、疑問があったりする場合は、黄旗をあげ審判長が来るのを待つ。

②100m, 50mH

監察場所 ・レーンナンバー標識の後

- 反則行為 ・2歩, 3歩と連続的にレーン侵害が行われたとき。
・足または脚がハードルの外側にはみでて通ったとき。
・わざと手または足でハードルを突き倒したとき。

(途中でつまづいて、手でハードルを突き倒した場合も失格。)

③1000m, 800m

監察場所 ・用器具監察員分担参照

- 反則行為 ・肘でついたり、走路をふさいだりしたとき。
・曲走路において、3歩以上続けてインレーン侵害したとき。

(縁石の内側に3歩以上続けて入る。)

- その他 ・第3コーナーの監察員は、ラップを計るので、先頭が200mのスタート線を通過したときに、アナウンサーに見えるように黄旗を降ろす。
・競技者以外が、トラック内に入らぬよう注意する。

④リレー (2, 3, 4走の選手をレーンに入れる)

監察場所 ・2, 3, 4コーナーごとに4人

トラック内側 バトンゾーン入口確認後→出口 (2・3・4・5レーン)

外側 バトンゾーン入口確認後→出口 (6・7・8・9レーン)

- 反則行為 ・曲走路においてインレーン侵害したとき。(規則上オンラインは違反であるが教育的配慮から、オーバーラインのみ違反とする。)
・曲走路において2歩, 3歩と連続的にアウトレーンに侵害したとき。または、1歩でも進路妨害をした場合。
・直線レーンにおいて2歩, 3歩と連続的にレーン侵害が行われたとき。
・バトンがゾーン内で受け渡されなかったとき。

判断は、バトンの位置で判断する。体の位置は関係ない。

- ・バトンパスが開始され、バトンパスが完了していない状態でバトンを落とした場合には、バトンは渡し手(前走者)が拾わなくてはならない。

その他 ・マークは(テーピング)は一枚しか使用できないので注意する。

- ・走り終わった後に、マーク(テーピング)をはがさせる。

- ・次の選手を入れる。

☆決勝審判員 (周回係)

○主任は、1000m, 800mの最終周に鐘を鳴らす。

○1000m, 800mのゴールにおいて競技者の着順を判定し、トランシーバーを使って着順を写真判定室に知らせる。競技者の整理誘導をする。

☆計時員

○1000m, 800mの予備計時をする。

○その他の種目の時は、走り幅跳びの競技者を砂場から出させる。

☆写真判定員

- 決勝線をフィールド側に延長する（白帯使用）と共に、延長線周囲に人が入らないようにコーンで囲む。
- 総務員の指示に従い、ゴールタイマー並びに、ビームのセッティングを行う。ゴール側のビームについても、周囲に人が入らないように低いコーンで囲む。
- 写真室の鍵をあける。**※朝の準備の際、前の大会のデータが入っていないかを確認する。**
カメラケーブル接続→レンズキャップ外す→カメラ調整
- インカムを写真判定室に一台設置する。
- プログラム入力をする。
- スターターに連絡してピストルテストを行う。スタート場所が変更になった時は、必ず行う。
- 一連の流れは別紙参照

☆スターター（リコーラー）

- スタート合図及びリコールの合図も兼ねる。
- 第1コーナーからのスタートについては、ゴールラインの北側10mフィールド内、それ以外のトラック競技はスタートライン前方5m付近、縁石内側1mフィールド付近にスターター台を設置する。
- スタート合図の要領（トランシーバー利用）

- ①スターターは、アナウンスが終了したら、監察主任が黄旗を降ろしたことを確認し、ピンマイクのスイッチを入れ、スターター台に上がる。「行います」をかける。

【スタートの合図】 50mH・100m・4×100mリレー

- (1) 位置について→「On your marks (オン ユア マークス)」
- (2) 用意 →「Set (セット)」 ←1000m・800mは言わない
- (3) ピストル

※「On your marks」をかけるときはピストルを持つ手の肘を曲げて、「Set」といいながら腕をゆっくりと全部伸ばしてから、ややゆるめたところで引金を引くのがよい。
800m以上の競技については「On your marks」といいながら腕を上へ伸ばして打つのがよい。

- ②スターター、リコーラー共に不正出発を認めた場合、速やかにリコールする。
- ③リコーラーは正規に出発した場合でも、写真室より「だめ。だめ。」の連絡が入ったら、ピストルを打ち、速やかにレースをとめる。写真室より「OKです。OKです。」の連絡が入ったら、「了解しました。」と返答する。

※「On your marks」がかかったら、リコーラーはトランシーバーの送信内容を正確につかむため、耳に当てておくこと。

- ④正規に出発後トラブルがない場合、スターターはピンマイクのスイッチを切り、次のレースに備える。

○諸注意

- ・セッティングの際、電光ピストル、トランシーバー、ピンマイク、スーパーメガホンのバッテリーチェックを必ず行う。電光ピストル、トランシーバーについては、新品の乾電池を入れる。
- ・1000mは直結型、それ以外の競技についてはYO式遠隔装置で行う。
第1コーナーはYO式遠隔装置を3台セットする。
- ・直結の電光ピストルで使用する紙雷管は、丸形に切つてあるものを使用する。
- ・ケーブルは、基本的にピストルAを使用する。
- ・スタート場所、ピストル変更をした場合は、写真判定室と連絡をとり、必ずテストを行う。
なお、テストのときに紙雷管は使用しないが、直結の電光ピストルの場合はカートリッジを必ずセットして空打ちをする。
- ・スターター、リコーラーは、黄色、または赤色の上着（ポロシャツ、ブレーカー等）、同色の帽子を着用する。ズボンは、グレー、または紺色が望ましい。
- ・不正出発に備え、紙雷管を携帯する。

☆出発係

- 競技者係から、スタートリストを受け取り、競技者たちを引き受ける。
- 各競技者を、決められた正しいレーンに並べる。
- 自分のナンバーカードを正しくつけているかを点検する。
- レーンナンバー標識を集合線の後方1～2m（スタートラインの5mくらい後方）の場所に並べる。競技者が棄権する場合、またはいない場合は、レーンナンバー標識を後方に倒しておく。
- スターティングブロックのセッティングの補助をしてあげる。
 - リレーの場合、スタート後1～4レーンのブロックをはずし、トラックの内側または外側にかたづける。
- リレーの第1走者にバトンを貸与する。
- 競技者の準備ができれば、スタートラインの後方3mのところ（レーンナンバー標識の前）に集め、スターターに準備が完了したことを合図する。
- 「写真室 準備OKです。」の合図を受ける。
- 競技者の準備が出来たら、アナウンサーに「アナウンスお願いします。」と連絡する。
- スタートの構えが正しいかを点検し、注意する。
 - ・スタートラインに手や足がふれていないか。
 - ・後足の膝が地面についているか。
- スターターの指示により、「不正なスタート」を警告し、または失格を通告する。
 - ・注意のときは、「Set(用意)で静止して」とか「Set(用意)で腰をしっかりとめて」と注意する。
 - ・不正出発のときは、「○レーン1回」と黄旗を降ろし、失格のときは「○レーン失格」と赤旗を降ろす。
- リレー2, 3, 4走者を各レーンに入れるのは出発係ではなく監察員が行う。

☆走り高跳び

- 必要な用器具やピットの準備をする。
 - ・スタンド、バー、マット（走り高跳び・棒高跳び用のカバー）巻尺、紅白手旗、記録用机、椅子、パラソル、ストップウォッチ、高さ表示板、拡声器等
- 競技者を招集する。
 - ・午後の競技は、第1コーナー外側で集めてピットに誘導する。
 - ・それぞれのピットで競技者の招集をする。
- 助走練習をさせ、マークをつけさせる。小学生の場合、足合わせが難しいので、踏み切り側から逆走させてあげる。
- 跳躍順にしたがって、練習の高さの跳躍を開始する。
- 競技を開始する。（高さ、回数を表示する。）
 - ・高さはバーの中心の上端にあわせる。
- 主 任 ・東側のスタンド横に座り、呼名されたら、60秒以内に完了させる。成功した場合は、『よし』という声と共に白旗をあげる。無効の場合は、『だめ』という声と共に赤旗をあげる。
 - ・足の裏から着地しない場合は無効試技とする。係員が足の裏から着地していないと判断した場合は、1度目はやり直しとし、2度目以降は無効試技とする。
- 係員① ・計測の準備が出来たら、跳躍順にしたがって名前を呼ぶ。
 - （記録係） 『1回目』（第1跳躍者のときだけ）
 - 『1番』『赤城太郎君』『2番』『榛名次郎君、準備』
 - ・主任の旗を見て、結果を記録用紙に記入する。
- 係員② ・西側のスタンド横に座り、補助をする。
- 係員③ ・競技者の監督をする。
- 試技者が、8名以内になったら（ベスト8）アナウンサーに報告する。
 - 8名以内になったら、跳躍者の順番（試技順）も表示する。
- すべての試技が終了したら、記録用紙に順位を8位まで記入し、記録集計員へ送る。
- 用器具やピットの片付けをする。

☆走り幅跳び

○必要な用器具やピットの準備をする。

- ・測定器、巻尺、差込棒、紅白手旗、記録用机、椅子、パラソル、トンボ、スコップ、ジョウロ、ほうき、記録表示板、助走距離用巻尺（リボンロッド）、競技者用助走距離表示マーク（位置マーク）など
- ・砂場をよく掘り返す。乾燥している場合、ホースを利用したつぷり水をまく。
- ・計測する場合は、砂場を助走路と同じ高さにすること。

○競技者を招集する。

- ・砂場付近で競技者の招集をする。

○助走練習をさせる。（あくまでも足あわせなので、砂ならしは毎回せず、どんどん練習させる）

- ・小学生の場合、足合わせが難しいので、踏み切り側から逆走させてもよい。

○3回計測をする。

主 任 ・計測の準備が出来るまでは、ゾーン上に赤旗を出しておき、準備が出来た段階で白旗に変え、引っ込める。

係員① ・踏み切りを確認し、踏み切り板上で踏み切った場合は、『よし』という声と共に白旗をあげ、無効の場合は、『だめ』という声と共に赤旗をあげる。

係員② ・白旗の場合、足跡の砂を崩さないように踵の部分に針金をさす。

係員⑥ ・白旗の場合は、記録を読み上げる。cmが一桁の時は、「ゼロ」をつけて読む。

係員⑤ ・計測が終わったら、砂場をならす。

係員③ ・計測の準備が出来たら、跳躍順にしたがって名前を呼ぶ。

（記録係） 『1回目』（第1跳躍者のときだけ）

『1番』『赤城太郎君』『2番』『榛名次郎君、準備』

係員④ ・読み上げた記録を正確に復唱しながら記録用紙に記入する。

・試技順と主任が読み上げた記録を表示し、表示板を回転させ、スタンドの観客に——紹介する。——（R6は実施せず）

係員⑦ ・競技者の監督をする。

○すべての試技が終了したら、記録用紙に順位を8位まで記入し、記録集計員へ送る。

○用器具やピットの片付けをする。

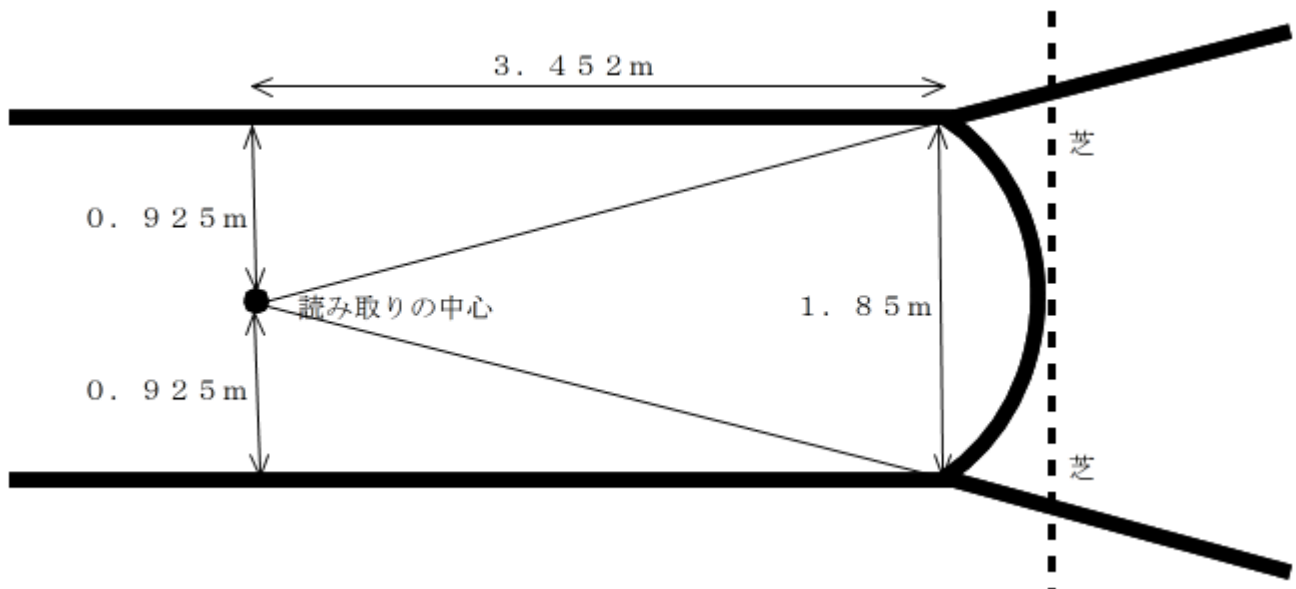
仕事	ピット	人数	ピット	人数
① 旗（赤白）	A	1	B	1
② 釘刺し	A	1	B	1
③ 呼び出し	A	1	B	1
④ 記録記入	A	1	B	1
⑤ 砂ならし	A	2	B	2
⑥ 計測	A・B	1人		
⑦ 誘導監督	A・B	1人		
合計	A	6	B	6

○計測・誘導監督は両ピット1人ずつとした（R6）

☆ソフトボール投げ

○必要な用具やピットの準備をする。

- ・ハンマー投げサークルを利用して弧を作り，後方に助走路を設置する。
- ・ソフトボール1号球，鉄の巻尺（2），100m巻尺（1）、養生テープ、紅白手旗，記録用机，椅子，パラソル，投擲距離表示標識、ラインテープ，ペグ、拡声器×4（Aピット2、Bピット2）、タオル（ボールを拭く用）



○競技者を招集する。（最新のスタートリストを受け取る）

- ・午後の競技は、第4コーナー外側で集めてピットに誘導する。

○ウォーミングアップをさせる。（投擲練習）

○競技を開始する。

主任……………ファールの判定，計測をする。

- ・投擲を確認し，違反のない場合は『よし』という声と共に白旗をあげ，無効の場合は，『だめ』という声と共に赤旗をあげる。
- ・1回ずつ投擲させる。
- ・最高記録のみ（疑わしい場合は除く）を計測し（足止めの内側で計測）サークル側で記録を読み上げる。

係員②③……落下地点の確認，ペグ刺し，ペグを最高記録地点に移動させる。

ファールの場合は、ペグを刺さない。

④⑤ 巻尺合わせをする。

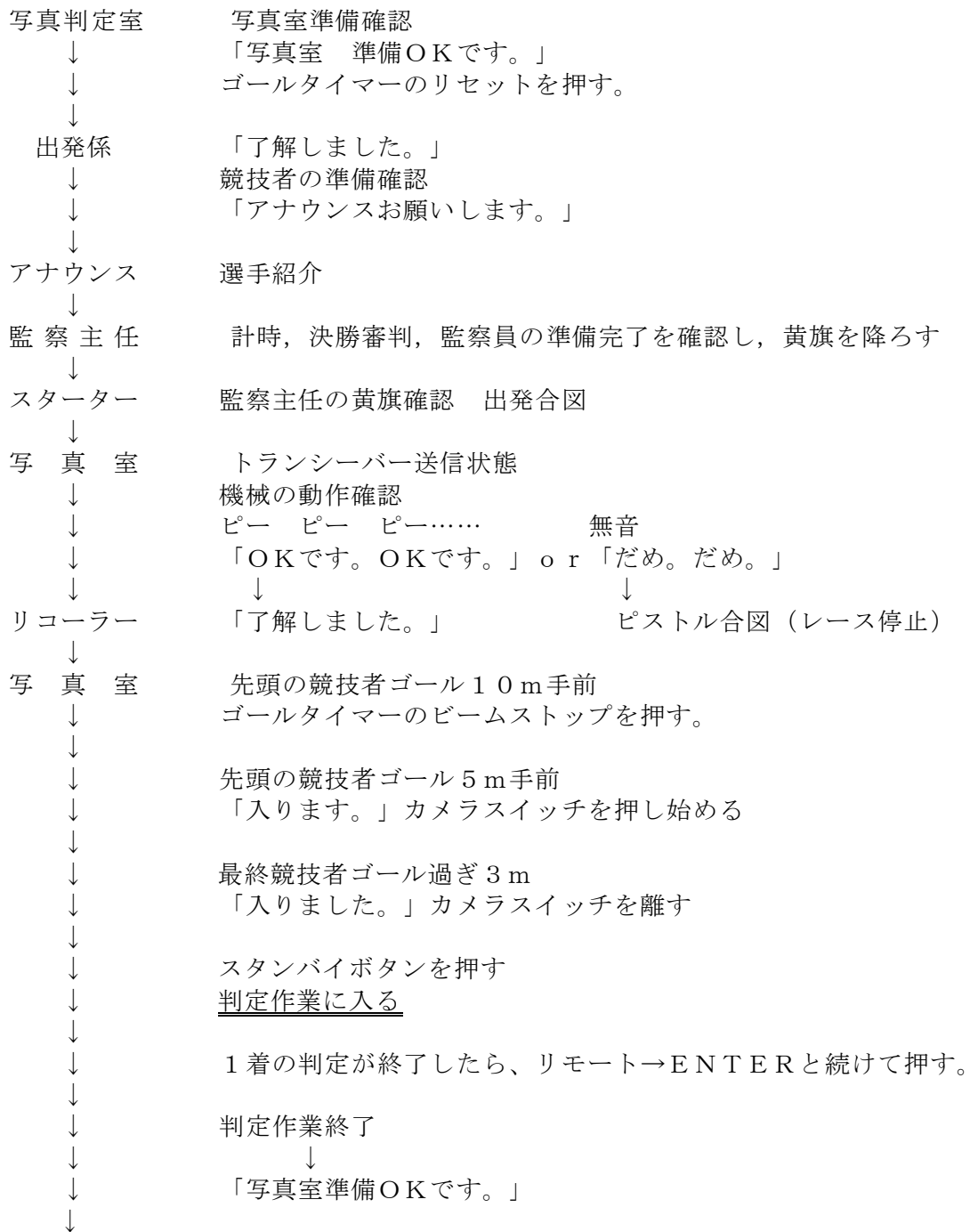
係員⑥⑦……2回目以降の試技の時に、次の試技者のペグを見つけておく。

係員⑧……試技順に呼名する。『1番』『赤城太郎君』『2番』『榛名次郎君，準備』

（記録係）**主任が読み上げた記録を正確に復唱しながら記録用紙に記入する。不明な点があった場合は必ずその場で、複数で確認する。**

○すべての試技が終了したら，記録用紙に順位を8位まで記入し，記録集計員へ送る。

トラック競技 出発の流れ



※不正出発の場合

